

SDG RACING INFORMATION

アジアロードレース選手権 第4戦

マンダリカ・インターナショナル・ストリート・サーキット

【AP250・ASB1000 レースレポート】

8月8日（土曜日）天候：晴れ コースコンディション：ドライ

8月9日（日曜日）天候：晴れ コースコンディション：ドライ

2026年度アジアロードレース選手権（ARRC）第4戦がインドネシアのマンダリカ・インターナショナル・ストリート・サーキットで開催された。

8月8日は全クラスの公式予選と決勝レース1が開催された。AP250はCarlsen Jacob Solis 選手（SDG HARC-PRO.Honda Philippines）と、SDGの社員ライダーである井吉亜衣稀選手（Team SDG with HARC-PRO.）が参戦。井吉選手は予選10位、決勝レース1は12位。Carlsen選手は予選29位、決勝レース1は23位でチェッカーを受けた。

ASB1000の阿部恵斗選手（SDG HARC-PRO.Honda Philippines）は予選2番手。決勝レース1ではスタートを決めて序盤からレースをリードした。途中からは連勝を続けているハフィス・シャーリン選手（DUCATI）との一騎打ちとなった。阿部選手はファイナルラップの最終コーナーで勝負を仕掛けたが、惜しくも0秒130差で2位チェッカーを受けた。

8月9日は全クラスのウォームアップ走行と決勝レース2が行われた。AP250の決勝レース2ではCarlsen選手が好スタートを切って10台以上の集団に加わり順位を大きく上げたが、徐々に離されていき18位でチェッカーを受けた。井吉選手はレース1より順位を1つ上げて、11位でチェッカーを受けた。

ASB1000の決勝レース2で阿部選手は2番手で1コーナーを立ち上がったが、オープニングラップを4位で終えた。その後は2番手まで順位を上げたが、独走態勢に入ったシャーリン選手との差を詰めることができず、決勝レース1同様に2位でチェッカーを受けた。

次戦は9月5～6日、マレーシアのセパン・インターナショナル・サーキットで開催予定。

-ASB1000-



#39 SDG HARC-PRO. Honda Philippines

阿部恵斗

予選:2位

決勝レース1: 2位 決勝レース2: 2位

-AP250-



#25 SDG HARC-PRO. Honda Philippines

Carlsen Jacob Solis

予選:29位

決勝レース1: 23位 決勝レース2: 17位



#37 Team SDG with HARC-PRO.

井吉亜衣稀

予選:10位

決勝レース1: 12位 決勝レース2: 11位



SNS ACCOUNT



@SdgMSOfficial



@sdgrider



SDG Co., Ltd.

SDG